

令和元年度版  
(平成30年分)

# 米原市環境報告書



令和2(2020)年3月

米原市

(経済環境部環境保全課)

## 目次

### 第1章 環境の現状

- 1 環境調査……………p.1
- 2 廃棄物……………p.3

### 第2章 米原市の環境施策の取組状況

- 1 第2次米原市環境基本計画における基本理念と目指す環境像……………p.5
- 2 重点プロジェクトについて ……p.6
- 3 第2次米原市環境基本計画および実施計画実績一覧……………p.7
- 4 米原市役所地球温暖化対策率先実行計画の取組状況……………p.9

### 付表

- 河川水質および名水水質の年次推移……………p.20

# 第1章 環境の現状

本市では、公害防止および地下水等の水質変動を調査するため、地下水水質、河川水質、湧水調査、土壌調査および自動車騒音の調査を実施しています。調査項目や調査地点は適宜見直しを行っています。



## 1 環境調査

### (1) 河川

#### <調査地点>

市内の主な河川で水質を調査しています。

調査地点名（地先）	回数
【環境基準の類型指定あり（水域類型：AA）】 「天野川上流」「天野川下流」（四町公害河川水質調査）	2回／年
【環境基準の類型指定なし】 「政所川」「出川」「黒田川」「真経堂川」「土川」「琵琶田川」 「長老墓地川」「承水溝」「磯川」「姉川上流」「姉川下流」	1回／年

#### <調査項目>

全調査地点	水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）、浮遊物質（SS）、大腸菌群数（最確数法）、ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-Hex）
	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、銅、亜鉛
「承水溝」「磯川」のみ	クロロフィル a、窒素含有量、リン含有量

#### <調査結果>

平成30年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、概ね現状維持向で推移し、大腸菌群数を除き、環境基準値（類型AA）内におさまっています。

大腸菌群は動物の糞便由来以外に、土壌・植物等自然界に由来するものも多くあります。大腸菌群そのものが直ちに衛生上有害というわけではありませんが、数値の動向に注視していく必要があります。

### (2) 湧水

#### <調査地点・調査項目>

環境省が選定した「昭和の名水百選」「平成の名水百選」である「泉神社湧水」「居醒の清水」のほか、市内の主な湧水で水質を調査しています。



調査地点	調査項目
「泉神社湧水」 「居醒の清水」	水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)、一般細菌、大腸菌、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩素イオン、有機物等 (全有機炭素 (TOC) 量)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-Hex) カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、PCB、銅、亜鉛、窒素含有量、リン含有量、有機リン化合物 味、臭気、色度、濁度、硬度
市内湧水(14 か所)	水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量 (BOD)、大腸菌、ナトリウム、カルシウム、マグネシウム、カリウム、バナジウム

<調査結果>

平成 30 年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、概ね現状維持向で推移し、大腸菌を除き、地下水の水質汚濁に係る環境基準値および水道水質基準値内におさまっています。

※湧水が飲用に適することを保証するものではありません。もし、飲用として利用される場合は、必ず煮沸してご利用ください。

(3) 地下水

<調査地点・調査項目>

市内の井戸を対象に地下水を調査しています。

調査地点	調査項目
大野木地先 (3 か所)	カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB、塩化ビニルモノマー、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン、水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、ノルマルヘキサン抽出物質含有量、窒素含有量、リン含有量
山東地域 (18 か所)	四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン
柏原地先 (3 か所)	水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、窒素含有量、リン含有量、大腸菌、ノルマルヘキサン抽出物質含有量、カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、銅、亜鉛、総水銀、PCB、有機リン化合物、全シアン
伊吹・春照地先 (3 か所)	一般細菌、大腸菌、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、有機物等 (全有機炭素 (TOC) 量)、水素イオン濃度、味、臭気、色度、濁度、カドミウム、全シアン、有機リン化合物、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、PCB

<調査結果>

平成 30 年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、地下水の水質汚濁に係る環境基準値内におさまっています。

(4) 土壌

<調査地点・調査項目>

市内 6 地点で土壌調査を実施しています。

調査地点	調査項目
山東地域（6 か所）	カドミウム、鉛、総水銀、全クロム、銅、アンチモン含有量

<調査結果>

平成 30 年度調査の結果、いずれの数値も前年度から大きな変化はなく、土壌含有量基準値および農用地における基準値（銅）を下回りました。

(5) 自動車騒音

騒音規制法第 18 条の規定に基づき、市内の主要道路における自動車騒音の実態を把握するため、調査を行っています。調査結果は環境省へ報告し、国立研究開発法人国立環境研究所のホームページの環境GISで公表されています。

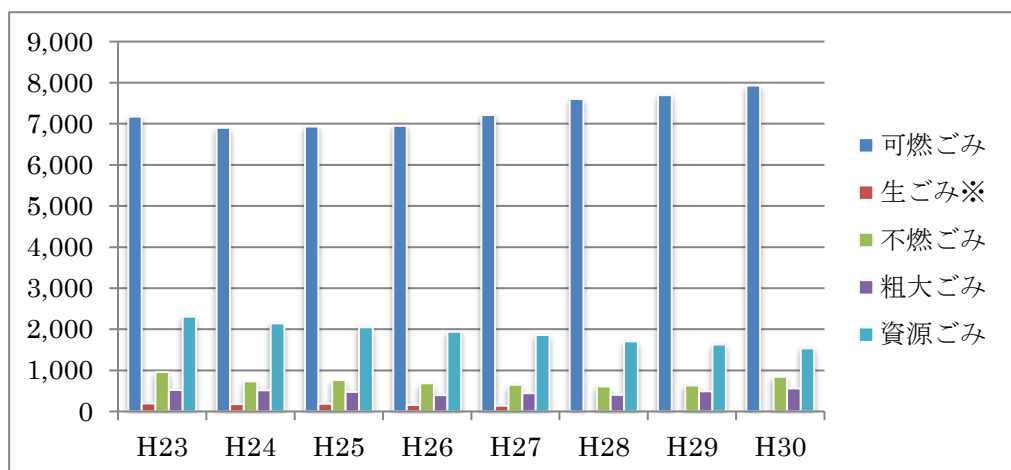
2 廃棄物

(1) ごみ処理量

米原市から発生したごみは、湖北 2 市（米原市、長浜市）で構成される湖北広域行政事務センターによって共同で処理されており、湖北広域行政事務センター一般廃棄物処理基本計画（令和元年 1 月）に沿って計画的な廃棄物処理が行われています。

現在、ごみ袋の有料化や 14 種 18 品目の分別収集を実施しており、ごみの処理量はほぼ横ばいとなっています。平成 30 年度は、事業系ごみ共が微増、また、竜巻による災害ごみの影響もあり公用、一般持込による不燃ごみが増加しました。湖北広域行政事務センターから全戸配布されている「湖北広域だより」では、ごみ排出量の推移や可燃ごみの組成分析結果が掲載されており、ごみの減量の呼びかけを実施されています。

米原市のごみ処理量（家庭系・事業計の合計）（単位：t）

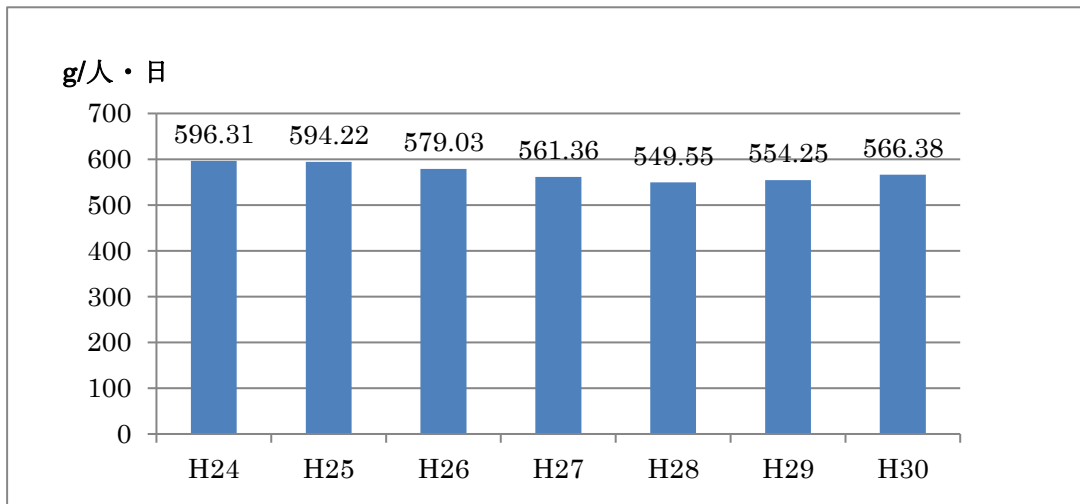


※生ごみは、伊吹地域のみでの収集実績です。

湖北広域行政事務センター調べ

※湖北広域行政事務センターが収集した分の集計です。

## 米原市の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（単位：g）



湖北広域行政事務センター調べ

### (2) 米原市コンポストセンター

温室効果ガス発生の抑制と有機物の農地還元による安全でおいしい農作物の市内流通を目的として、平成19年から生ごみや牛ふん、農業集落排水汚泥を再利用し、堆肥化する施設「米原市コンポストセンター」を運営していました。しかしながら、劣化した機器の更新等に多額の経費が必要となることから、米原市コンポストセンター運営委員会より提出された「米原市コンポストセンターの今後のあり方について(答申)」(平成27年3月)を受けて、米原市コンポストセンターは平成29年10月末を以て廃止しました。完成した堆肥の販売は、令和元年度も継続しています。

※コンポストセンター運営委員会の審議・検討内容は、詳しくは以下に掲載しています。

市ウェブサイト：[トップ](#) < [くらし](#) < [ごみ、環境](#) < [環境](#) < [米原市の環境への取組](#) < [米原市コンポストセンター運営委員会](#)

## 利用資源量

項目		計画量	H21	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
搬入実績	廃棄物	生ごみ(t)	189.00	192.02	193.90	183.18	170.73	153.62	14.09	0	0
		牛ふん(t)	648.00	386.20	408.46	469.95	448.8	483.72	511.86	0	0
		農業集落排水汚泥(t)	972.00	819.89	823.20	830.18	862.53	816.31	813.80	0	0
		刈草・剪定枝(t)	20.80	9.53	2.88	4.88	3.96	4.15	1.75	0	0
		合計	1,829.80	961.54	1428.4	1488.2	1486	1457.8	1341.5	0	0
	有価物	籾殻(m <sup>3</sup> )	—	368	416	255	240	375	135	0	0
米ぬか等(t)		—	76.00	71.19	93.06	92.99	78.68	71.98	0	0	
施設稼働率(%)			59.77	82.87	85.65	86.19	84.63	76.73	0	0	
堆肥販売量(kg)			111037	75,422	82,544	67,536	113,235	64,782	71,467	40,834	

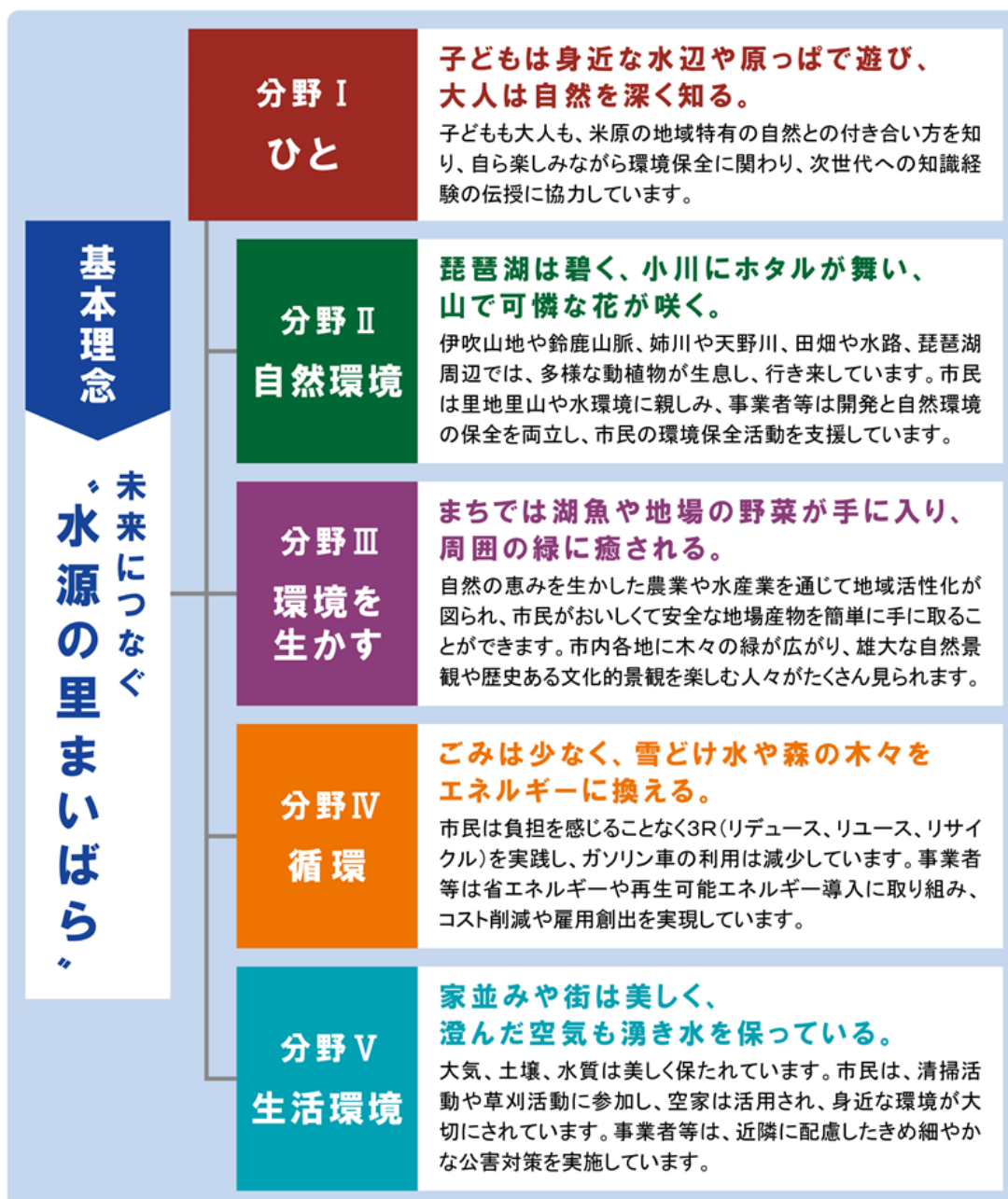
※平成21年度から「ゆめいぶき3号」の生産販売を開始。また、平成22年度からは、山東地域の農業集落排水汚泥を搬入。

## 第2章 環境施策の取組状況

### 1 第2次米原市環境基本計画における基本理念と目指す環境像

第2次米原市環境基本計画(計画年度:平成30年度～令和29年度)では、基本理念の「未来につなぐ“水源の里まいばら”」に基づき、環境施策の5つの分野(Ⅰ「ひと」、Ⅱ「自然環境」、Ⅲ「環境を生かす」、Ⅳ「循環」、Ⅴ「生活環境」)それぞれについて、本市の目指す環境像を以下に示します。

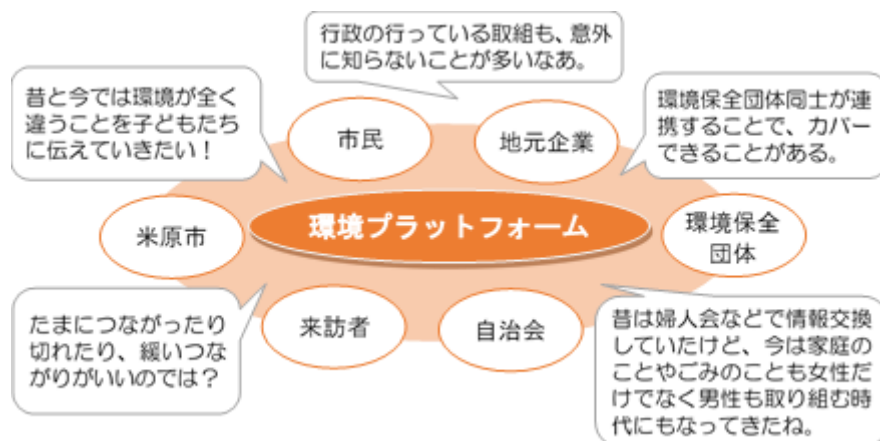
#### 基本理念と目指す環境像



## 2 重点プロジェクトについて

### 重点プロジェクト1：今後も住み続けたいと思えるための「ひとの集まりづくり」

環境に関心を持つ人を増やし、環境を保全するための活動や事業を応援するため、地元企業や市民等が緩やかに連携できる“環境プラットフォーム”の形成を目指します。行政は、その基盤づくりとして、様々な主体への呼び掛け、ニーズの把握、技術や情報の紹介、人材・資金の仲介などを行い、活動の広がりを応援します。



### 重点プロジェクト2：豊かな森林と水の保全と活用による「米原ならではのエネルギーづくり」

本市の特徴である豊かな森林資源や水資源等を守りながら活用し、地球温暖化の防止や災害に強い地域づくり、資源節約や産業振興へつなげる低炭素社会の実現を目指します。行政は率先してエネルギーや資源の無駄を削減するとともに、産官民学の協働や、国や県との連携により、地産地消のエネルギーの導入と省エネルギー化を進めます。また、市民と話し合い、ごみを減らすために有効な取組を検討し、環境意識の向上を図ります。

本市におけるこうした取組や先進的な事業の情報は、市内外に向けて積極的に発信し、「新エネルギーの導入」に係る市民の満足度を高めていきます。



木の駅における  
木材の活用



未来のために、いま選ぼう。



甲津原交流センター  
小水力発電設備



2 第2次米原市環境基本計画および実施計画の取組実績一覧 一指標の推移一

目標達成率:A…取組が推進され、目的が100%達成されている。  
 B…取組がある程度進んでおり、目的達成度は80%程度である。  
 C…取組があまり進んでおらず、目的達成度は50%程度である。  
 D…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。  
 E…現状の変化により、取組を実施できなくなった。

「\*」の付いた指標は、市総合計画の基本構想において成果指標となっているもの。<P>は、第2次米原市環境基本計画の該当ページ。

施策分野I「ひと」 特に関わりの深いSDGs:4(教育);14(海の豊かさ);15(陸の豊かさ);17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況(参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分野I「ひと」	子どもが地域の自然の中で遊べる環境づくり、地域で子育て、子育ての推進<P17>	冒険遊び場の設置数	3カ所(平成28年度)	3													7カ所(令和9年度)	子育て支援課
	学校における環境教育の推進<P17>	「うみのこ」「やまのこ」「たんぼのこ」「環境美化の日」の取組実施校の数	全校(平成29年度)	全校														全校(令和9年度)
分野II「ひと」	協働のまちづくり、住み続けたいと思えるまちづくりの推進<P19>	「これからも米原市に住みたい」と思う市民の割合(%)*(市民意識調査による)	81.5%(平成29年度)														85%(令和9年度)	政策推進課
	環境マインドを持った地域リーダーの育成、学びの場づくりの推進<P19>	まなびサポーターの登録数*	214人(平成29年度)	216													230人(令和9年度)	生涯学習課
施策分野II「自然環境」 特に関わりの深いSDGs:11(住み続けられるまち);15(陸の豊かさ);17(パートナーシップ)	環境活動の基盤づくり、人の集まりづくり(重点目標)<P19>	環境プラットフォーム”の”情報発信の回数	無し	1													年1回以上を継続(毎年)	環境保全課
	自然環境	森林整備の推進<P21>	97ha(平成26年度)	59ha													200ha(令和9年度)	林務課

施策分野III「環境をすくすく」 特に関わりの深いSDGs:11(住み続けられるまち);14(海の豊かさ);15(陸の豊かさ);17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況(参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分野III「環境をすくすく」	エコツーリズムの推進<P25>	観光ボランティアガイドの数	27人(平成28年度)	24													30人(令和9年度)	商工観光課
	環境保全型農業の推進<P25>	環境保全型農業直接支払交付金取組面積*	287ha(平成29年度)	240													280ha(令和9年度)	農政課
施策分野IV「循環」 特に関わりの深いSDGs:7(クリーンエネルギー);8(経済成長と雇用);9(インフラ、産業化、イノベーション);11(住み続けられるまち);12(持続可能な生産と消費);13(気候変動);17(パートナーシップ)	地域住民と連携した地域の個性と誇りの育成<P27>	「歴史・文化の継承と活用」の満足度*(市民意識調査による)	83.1%(平成29年度)														90%(令和9年度)	歴史文化財保護課
	計画的な都市公園、緑地の整備<P27>	「やすらぎのある環境の整備」の満足度*(市民意識調査による)	79%(平成29年度)														82%(令和9年度)	都市計画課

施策分野IV「循環」 特に関わりの深いSDGs:7(クリーンエネルギー);8(経済成長と雇用);9(インフラ、産業化、イノベーション);11(住み続けられるまち);12(持続可能な生産と消費);13(気候変動);17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況(参考)	実績値										前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9					
分野IV「循環」	「米原市役所地球温暖化対策先実行計画」および「米原市グリーン購入調達方針」の運用の徹底<P29>	公用車の購入台数中のエコカー導入率(%) (※エコカーの定義は同方針による)	88%(平成28年度)	90													90%(令和9年度)	管財課
	「米原市役所地球温暖化対策先実行計画」の運用の徹底(重点目標)<P29>	米原市役所の排出する温室効果ガスの量	3,492.6t-CO2(平成28年度)	3,177.5t-CO2													2,419.7t-CO2(令和12年度)	環境保全課
施策分野IV「循環」	新エネルギーの利活用の推進(重点目標)<P29>	「新エネルギー導入」に対する満足度*(市民意識調査による)	79.4%(平成29年度)														85%(令和9年度)	環境保全課
	ごみゼロの推進(重点目標)<P31>	家庭ごみ(資源ごみを除く。)の1人1日当たりの排出量*	443g(平成28年度)	458													410g(令和11年度)	環境保全課

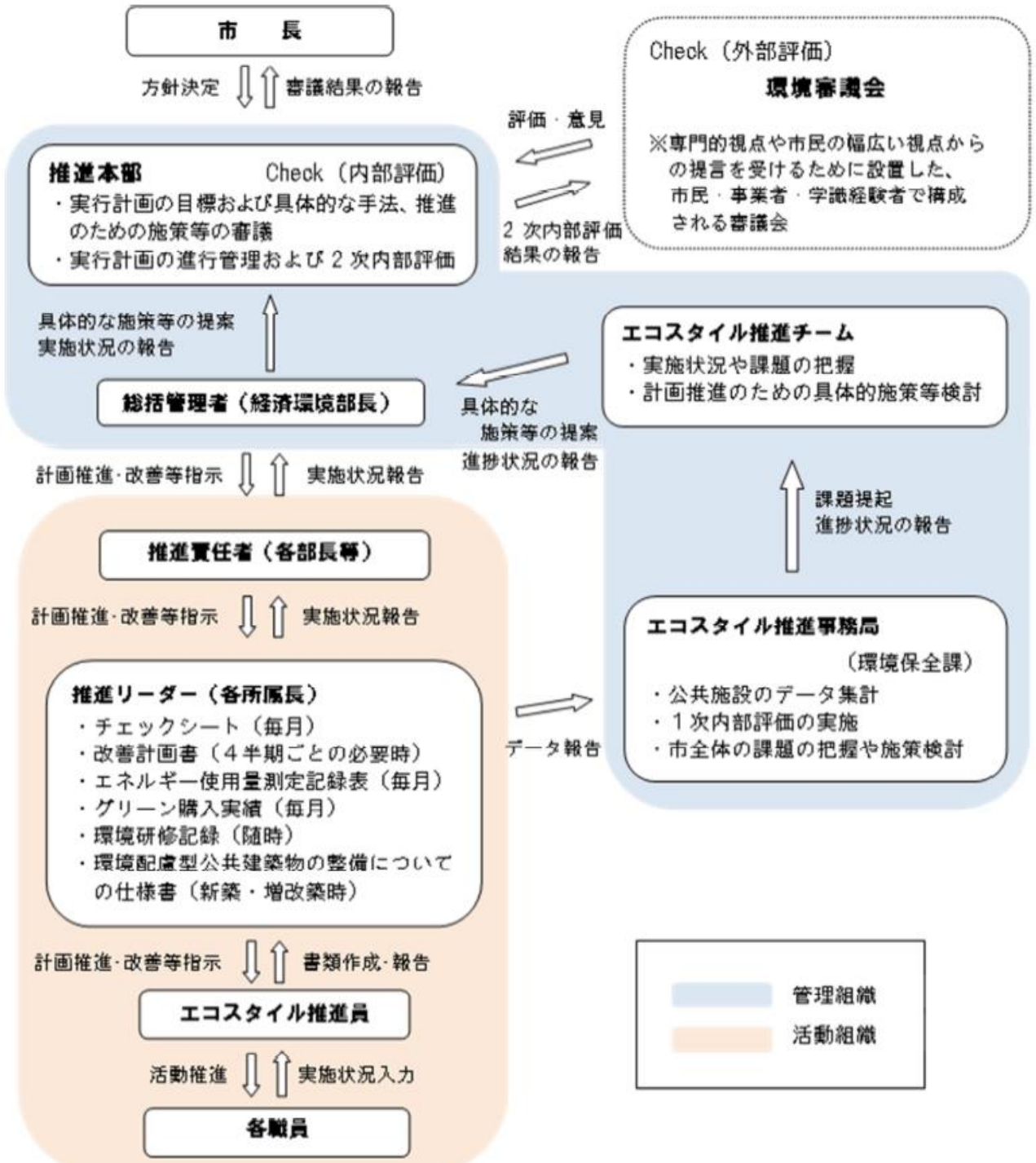
目標達成率：A…取組が推進され、目的が100%達成されている。  
 B…取組がある程度進んでおり、目的達成度は80%程度である。  
 C…取組があまり進んでおらず、目的達成度は50%程度である。  
 D…取組がほとんど進んでおらず、目的達成度は30%以下である。  
 E…現状の変化により、取組を実施できなくなった。  
 「\*」の付いた指標は、市総合計画の基本構想において成果指標となっているもの。〈P 〉は、第2次米原市環境基本計画の該当ページ。

施策分野V「生活環境」特に「水・衛生」,11(住み続けられるまち),12(持続可能な生産と消費),17(パートナーシップ)

分野	施策内容	指標	現況	実績値									前年比較	目標達成率	目標値	担当部署名	
				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8					R9
分野V 生活環境	上下水道の維持管理<P34>	「水がおいしいと感じる」の満足度* (市民意識調査による)	67% (平成29年度)													70% (令和9年度)	上下水道課
	協働による市民の生命と財産を守る河川環境の維持管理<P36>	ふるさと川づくり事業の実施自治会数	62自治会 (平成29年度)													65自治会 (令和9年度)	建設課
	中間支援組織等と連携した空家の利活用、地域環境の保全の支援<P36>	空家バンク契約成立件数(累計)*	35件 (平成29年度)													64件 (令和9年度)	地域振興部

【推進体制】

【実施状況点検・評価フロー】



# 第1節 米原市地球温暖化対策の主な取組について

## 1 米原市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】(抜粋)

COP21 で採択されたパリ協定や国連に提出した「日本の約束草案」を踏まえ、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」では、日本の温室効果ガス削減の中期目標として、2030年度に平成25(2013)年度比で26%減の水準にすることとされております。

本計画は、法第21条に基づき、地方公共団体実行計画(事務事業編)として策定するものであり、市が行う事務・事業に伴って排出される温室効果ガスについて、その排出実態を明らかにし、削減対策および推進体制を定め、地球温暖化対策を計画的かつ着実に推進するとともに、地域に率先して環境負荷の低減に努めることを目的とします。

### (1) 対象とする組織・施設

市の全ての組織および市の保有する全ての施設

### (2) 事務・事業の範囲

すべての事務・事業(外部発注・委託を行うものも含まれます。)

### (3) 計画の期間

平成30年(2018年)から2030年度までの13年間

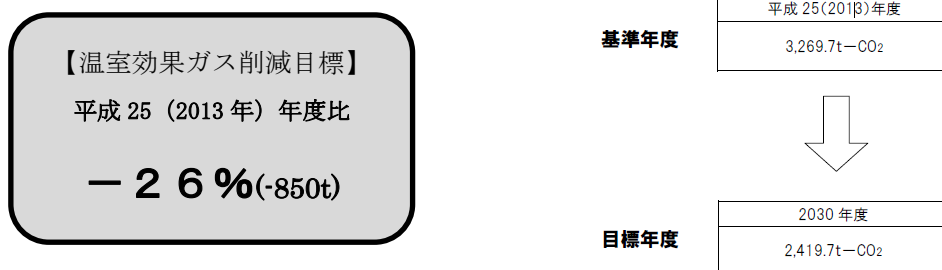
ただし、施設の状況やエネルギーを取り巻く社会状況の変化に対応するため、第1期は5年後に計画の見直しを行います。(第2期と第3期の期間は4年とします。)

### (4) 事務・事業の分類

事務・事業の内容や施設の特性に応じた取組を実施することが温室効果ガス排出量の削減に有効であるため、事務系部門、市民サービス系部門に分類します。

部 門	主な施設
事 務 系	市役所各庁舎
市民サービス系	文化施設、学校・園、公園施設等

### (5) 計画の目標



### (6) 具体的な取組項目

#### 【全部門共通の取組】

市の事務・事業の実施に当たっては、常に環境の視点を取り入れ、地域に率先して環境負荷の低減に向けて行動します

- ア グリーン購入の推進
- イ 公共事業等における環境負荷の低減
- ウ 既存施設における再生可能エネルギー設備の導入と省エネ改修の実施
- エ イベントのエコ化の推進
- オ 環境配慮型の公共建築物の整備
- カ 公用車へのエコカーの導入
- キ エコドライブの実践

### 【事務系部門における取組】

- ア 公用車の燃料使用量削減に向けた取組
- イ 冷暖房等の電力・燃料使用量削減に向けた取組
- ウ 電気使用量削減に向けた取組
- ★ エ その他エネルギー削減に向けた取組
- ★ オ 用紙類の使用量削減に向けた取組
- カ ごみの排出量削減に向けた取組

### 【市民サービス系部門における取組】

市民サービス系部門における事務執行部門や施設の共用部分においては、事務系部門の取組に準じて取り組むこととします。

- ◇環境教育の推進
- ◇環境に配慮した学校施設等の整備

### (7) 重点項目

#### 【重点項目 1】

##### ★その他エネルギー削減に向けた取組

◇限られた時間で成果を上げる生産性の高い働き方を実現できるよう、「働き方改革」に取り組むことにより、**定時退庁日の取組**を徹底します。

#### 【重点項目 2】

##### ★用紙類の使用量削減に向けた取組

◇広報「まいばら」、CATV、公式ウェブサイト等の活用により**チラシの削減**を図ります。

## 2 米原市グリーン購入調達方針

物品および役務(以下「物品等」という。)の調達の方針は、次のとおりとします。

- (1) 必要性や必要量を十分検討し、調達総量の抑制に努めます。
- (2) この調達方針に定めるもののほか、国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」(以下「基本方針」という。)の基準に適合したもの、別表「主な環境ラベル」に掲げる環境ラベリング制度の認証を受けた環境ラベル等が付されているもの、およびその他環境に配慮したものであることが証明されているものの調達に努めます。
- (3) 物品等の包装は可能な限り簡易で、再生利用や廃棄時の負荷低減についても配慮されているものの調達に努めます。

【平成 30 年度の重点物品等調達目標】

**80%以上**

## 第2節 平成30年度（2018年度）の実績

基準年を平成25年度とした数値目標と実績は次の通りです。

◆実行計画における目標値  
 2030年度CO2排出量⇒平成25(2013)年度比 **マイナス 26%**

### エネルギー使用量およびCO2排出量比較表

①事務系部門	H28年度(基準年)		H29年度		H30年度		H29年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2増減量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率
電気(RWh)	830.136.0	433.3	1,004,257.0	486.0	956,842.0	479.6	△ 19,014	136,706	46	10.7%
LPガス・都市ガス(m³)	279.9	1.8	500.8	3.0	519.7	3.4	70	240	2	85.7%
灯油(t)	32,472.0	80.9	33,784.0	89.9	39,288.0	97.8	3,182	6,816	17	21.0%
ガソリン(t)	54,325.4	126.0	64,902.4	150.6	63,377.9	147.0	14,79	9,053	21	16.7%
軽油(t)	6,765.3	17.5	2,651.3	6.8	5,129.7	13.2	1,798	162	0	2.4%
事務用紙(枚)	3,756,277.0		3,683,909.0		3,368,228.0		△ 467,472	△ 388,049		
ごみ排出量(kg)	7,554.2		8,376.7		7,563.9		705	△ 0		
水運(m³)	5,540.0		5,749.0		6,060.0		858	520		
<b>CO2排出量合計</b>	<b>659.5</b>		<b>743.0</b>		<b>735.7</b>		<b>745.7</b>	<b>10.0</b>	<b>86</b>	<b>13.1%</b>

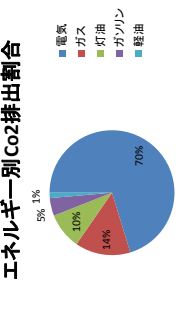
107.1.03 新庁舎運用前CO2排出量(基本設計予測値)

②市民サービス部門	H25年度(基準年)		H28年度		H30年度		H29年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2増減量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率
電気(RWh)	3,665,406.8	1,913.3	3,864,367.0	2,017.2	3,744,052.0	1,857.0	△ 221,845	78,645	△ 56	-2.9%
LPガス・都市ガス(m³)	27,036.4	178.4	62,162.3	410.3	70,369.8	464.4	43,333	43,333	286	160.3%
灯油(t)	165,967.3	413.0	85,179.7	212.1	100,764.1	250.9	△ 16,889	△ 82,092	△ 204	-49.5%
ガソリン(t)	1,699.3	3.9	1,247.1	2.9	1,066.4	2.5	△ 1,133	△ 633	△ 1	-37.2%
軽油(t)	45,107.6	116.4	11,917.2	30.7	10,685.1	27.6	494	△ 34,423	△ 89	-76.3%
事務用紙(枚)	1,893,334.0		2,355,274.0		2,544,951.0		86,362	651,617		
ごみ排出量(kg)	688.9		1,035.9		1,011.6		△ 25	323		
水運(m³)	85,892.0		82,236.0		73,994.0		△ 2,542	△ 11,888		
<b>CO2排出量合計</b>	<b>2,625.4</b>		<b>2,673.2</b>		<b>2,560.4</b>		<b>2,560.4</b>	<b>△ 65</b>	<b>△ 2.5%</b>	

③施設エネルギー	H25年度(基準年)		H29年度		H30年度		H29年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2削減量(t)	増減率	CO2削減量(t)	増減率
電気(RWh)			90,242.0	28.1	85,823.0	26.7	90,000.0	280	4,177.0	

④エネルギー使用量等の比較(合計)	H25年度(基準年)		H28年度		H29年度		H30年度		H29年との比較		基準年との比較	
	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2排出量(t)	CO2削減量(t)	CO2増減量(t)	増減率	CO2増減量(t)	増減率
①②③合計	4,495,542.8	2,345.7	4,778,362.0	2,487.2	4,865,930.0	2,395.9	4,620,894.0	2,292.0	△ 245,036	△ 55	-2.3%	
LPガス・都市ガス(m³)	27,316.3	180.3	62,663.1	413.6	76,474.6	504.7	70,889.5	467.9	△ 5,585	288	159.5%	
灯油(t)	198,439.3	494.1	118,963.7	296.2	136,870.1	340.8	123,163.3	306.7	△ 13,707	△ 187	-37.9%	
ガソリン(t)	56,024.7	130.0	66,149.5	153.5	64,098.0	148.7	64,444.4	149.5	346	20	15.0%	
軽油(t)	51,872.9	133.8	14,568.5	37.6	15,320.6	39.5	17,612.6	45.4	2,292	△ 88	-66.0%	
事務用紙(枚)	5,649,611.0		6,039,183.0		6,294,289.0		5,913,179.0		△ 381,110	△ 88		
ごみ排出量(kg)	8,243.1		9,412.5		7,885.2		8,565.5		680	322		
水運(m³)	91,422.0		87,965.0		81,738.0		80,054.0		△ 1,684	△ 1,368		
<b>CO2排出量合計</b>	<b>3,284.9</b>		<b>3,388.1</b>		<b>3,432.7</b>		<b>3,261.5</b>		<b>△ 171.2</b>	<b>△ 23</b>	<b>-0.7%</b>	

※CO2排出係数はH25年度の係数で計算  
 電気 H25比 636,942,540.727%  
 H29比 △ 606  
 ※CO2排出係数を2030年度の係数で計算した場合は  
 77%  
 -18%



排出係数	H25(2013)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)
電気	0.005522	0.005522	0.005522	0.005522
LPガス	0.000509	0.000509	0.000509	0.000509
灯油	0.000039	0.000039	0.000039	0.000039
ガソリン	0.000038	0.000038	0.000038	0.000038
軽油	0.000038	0.000038	0.000038	0.000038

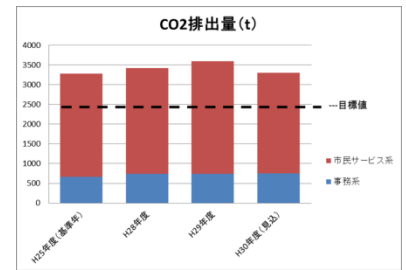
温室効果ガス排出量 = 活動量(エネルギー使用量) × 排出係数

### ★合計経費削減効果

単価(円)	H29年比(円)	基準年比(円)
15	△ 3,675,540	1,880,269
330	△ 1,843,084	14,379,163
99	△ 1,356,977	△ 7,452,327
142	49,186	1,195,597
121	277,337	△ 4,145,493
0.43	△ 163,877	113,334
189	△ 318,276	△ 2,146,532
<b>合計</b>	<b>△ 7,031,232</b>	<b>3,821,991</b>

## CO2 排出量

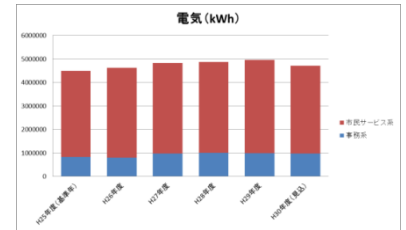
Co2 排出量は基準年度比 23 t 削減、昨年度比約 170 t 削減となっています。電気使用量は増えていますが排出係数（H25：0.000522、H30：0.000496）が変わったため全体として排出量が減っています。



### ①電気使用量

電気使用量は基準年度より約 12 万 kWh 増加しています。前年度比では約 24 万 kWh の削減となっています。

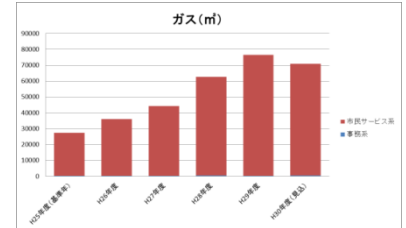
H30 年度から学校施設の LED 化が順次進められており、市民サービス系部門の使用量削減が見込まれます。



### ②ガス使用量

ガス使用量は基準年度比 4.3 万 m<sup>3</sup> の増加、前年度比約 5.5 千 m<sup>3</sup> の削減となっています。

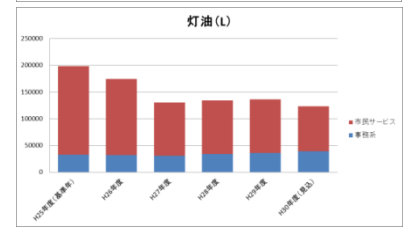
園の統合、中学校での使用量の削減が寄与していますが、伊吹庁舎は増加しています。



### ③灯油使用量

灯油使用量は基準年度比約 7.5 万 L の削減、前年度比約 1.3 万 L の削減となっています。

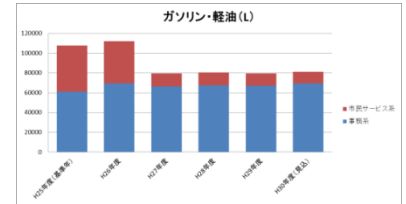
学校・園施設の設備変更等が寄与しています。伊吹・山東庁舎では空調利用の増加のためか使用量が増加しています。



### ④ガソリン・軽油使用量

ガソリンの使用量は基準年度比約 8 千 L の増加、前年度比約 300L の増加、軽油は基準年度比約 3.5 万 L の削減、前年度比約 1400L の増加となっています。

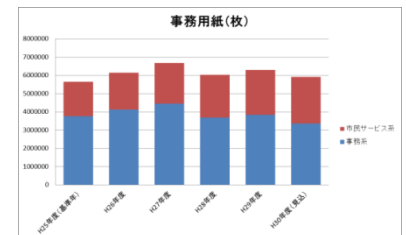
各庁舎ではガソリン・軽油とも前年を上回る使用量となっています。竜巻等の災害対応が原因と考えられます。



### ⑤事務用紙使用枚数

事務用紙使用枚数は基準年度比で約 26 万枚の増加、前年度比約 38 万枚の削減となっています。

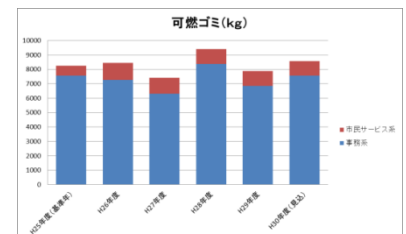
各庁舎での使用枚数は削減されていますが、学校、園での使用枚数が年々増加しています。



### ⑥可燃ゴミ排出量

可燃ゴミ排出量は基準年度比 322kg の増加、前年度比 680kg の増加となっています。

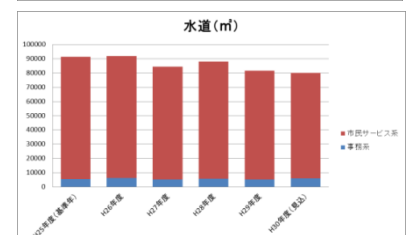
文書の保存年数の見直し等により文書整理を行った結果、排出量が増加したと考えられます。



### ⑦水道使用量

水道使用量は基準年度比約 1.1 万 m<sup>3</sup> の削減、前年度比約 1,600 m<sup>3</sup> の削減となっています。

学校・園・給食センターでは使用量が削減できていますが、伊吹・山東庁舎では使用量が増加しており、漏水が原因と考えられます。

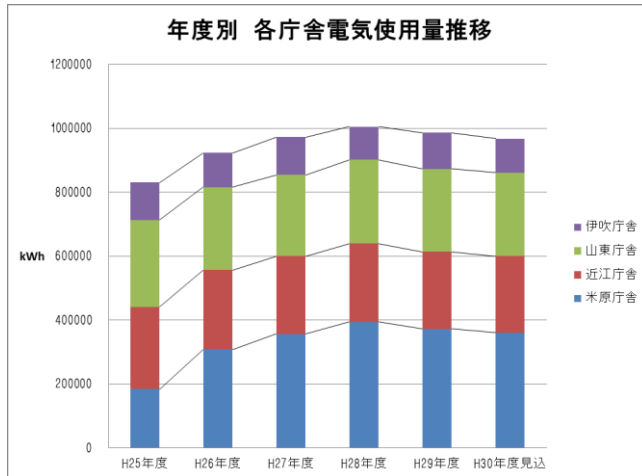


## 部門別状況

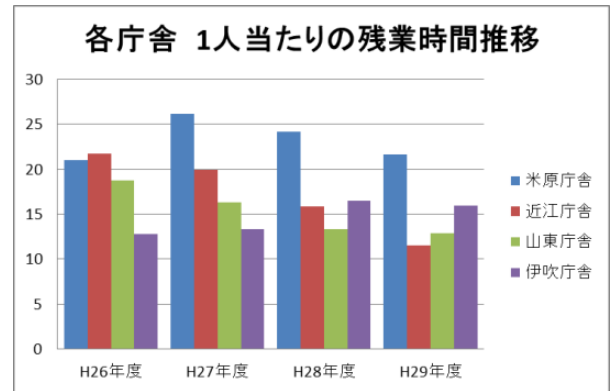
### ① 電気

#### 【事務系部門】

夏の猛暑の影響もあり基準年度より約 13.6 万 kWh 増加しているものの、前年比では各施設の節電対策等により約 1.9 万 kWh の削減となる見込となりました。重点項目 1 の時間外勤務の削減により電気使用量の抑制が見られました。



※30年度1～3月期は昨年度実績からの予測値

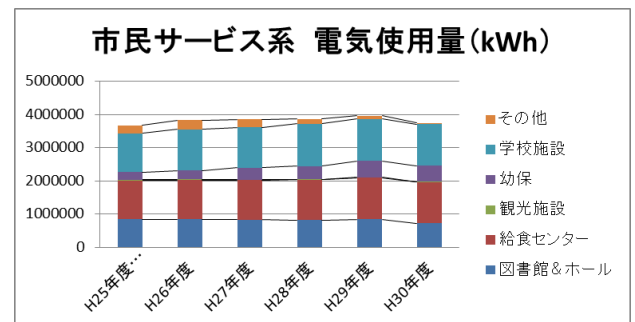


※衛生委員会資料より

#### 【市民サービス系部門】

基準年度より約 7.8 万 kWh 増加となっていますが前年度比では約 22.1 万 kWh の削減となっています。

コンポストセンターの閉鎖と園の統合により使用量が削減された他、市民交流プラザでの削減が見られました。



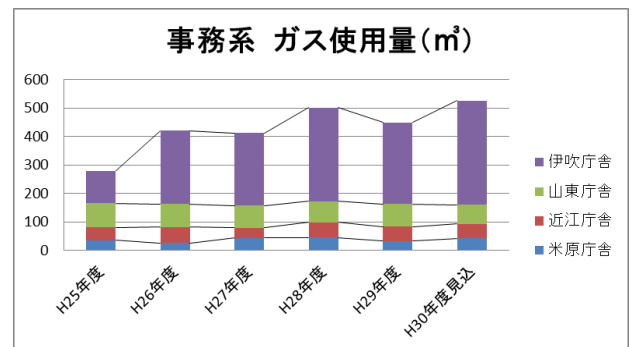
### ② LP ガス・都市ガス

#### 【事務系部門】

LP ガスの使用量は基準年度より約 240 m<sup>3</sup>増加見込みとなっています。

基準年以降も増加傾向で推移しています。

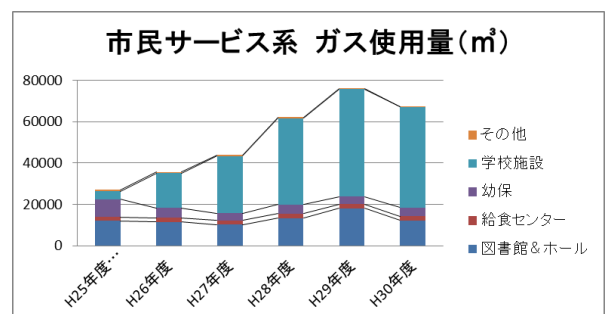
伊吹庁舎サロンでの空調利用の増加が原因とされます。



#### 【市民サービス系部門】

基準年度より約 4.3 万 m<sup>3</sup>の増加、前年比 5,600 m<sup>3</sup>の削減となっています。

学校施設の冷暖房が灯油からガス式に変わったため年々増加となっていますが、本年度は前年より改善されています。





### ③ 灯油使用量

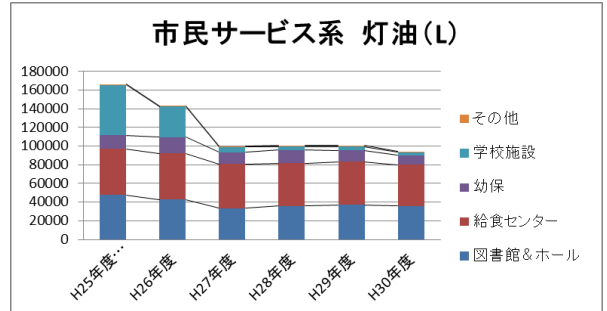
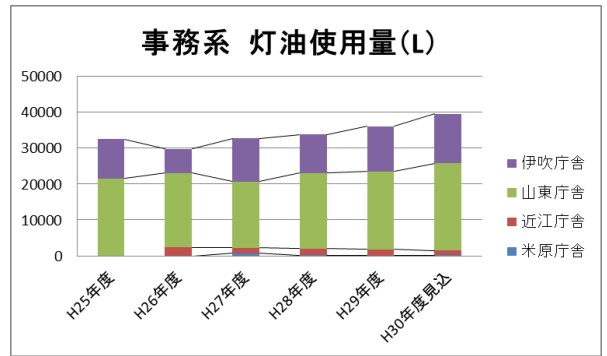
#### 【事務系部門】

灯油の使用量は基準年度より約 6,800L 増加、前年比約 3,100L 増加となっています。

酷暑の影響により伊吹・山東庁舎の空調利用が増加したことが原因と考えられます。

#### 【市民サービス系部門】

基準年度より約 9.3 万 L 削減、前年度比約 9,600L 削減となっています。学校の空調設備の変更に伴い減少しています。近江図書館の使用量が削減出来ています。



### ④ ガソリン・軽油使用量

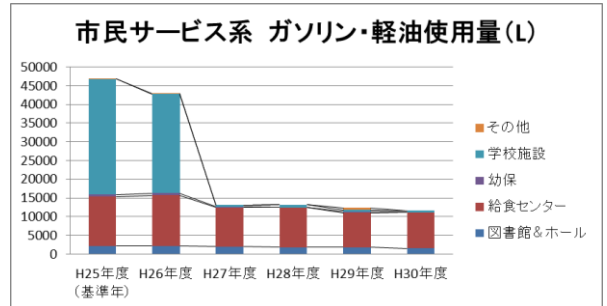
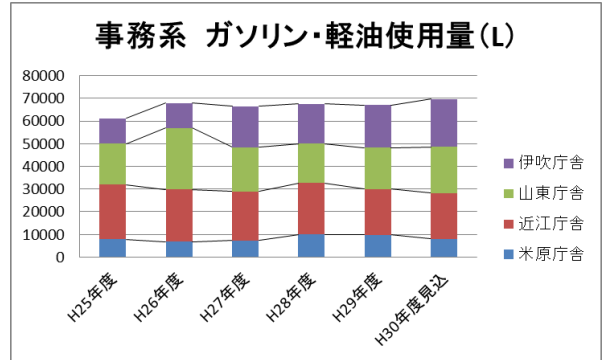
#### 【事務系部門】

燃料の使用量は基準年度より約 8,400L の増加、前年度比では約 2,400L 増加の見込みとなっています。

6月に発生した竜巻の処理により山東地域協働課林務課・環境保全課が燃料の使用が増加しています。子育て支援課は公用車1台増のためガソリン使用量が増加しています。

#### 【市民サービス系部門】

基準年度より約 3.4 万 L の削減、前年度比 494L の増加の見込みです。給食センター・はにわ館の燃料増加が原因です。H27以降はスクールバスが委託になり軽油使用量が実績なしとなっています。



### ⑤ 事務用紙使用枚数

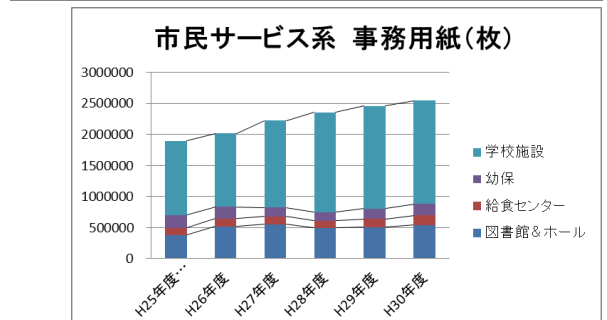
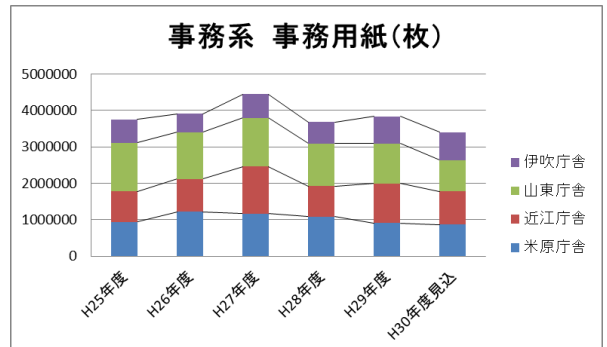
#### 【事務系部門】

事務用紙使用量は両面印刷等により、基準年度比約 38 万枚の削減、前年度比約 46 万枚の削減となっています。会計室、健康づくり課、農業委員会事務局は前年度比で 10%以上使用枚数が増加しています。

#### 【市民サービス系部門】

基準年度比約 65 万枚の増加、前年度比約 8.6 万枚の増加となっています。中学校・こども園での事務用紙使用枚数が特に増加しています。

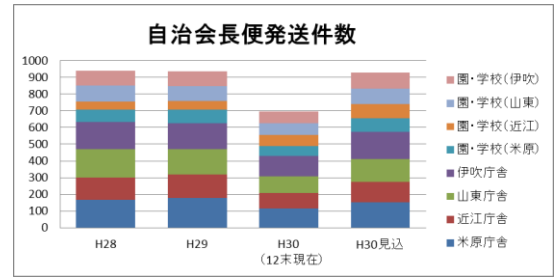
市民交流プラザも増加傾向が見られます。



【参考】自治会長発送文書量の推移

重点項目2の広報等の利用による事務用紙の削減についてH29年度自治会便の見直しがありました。発送件数はあまり変化がない見込みとなっています。

(H30見込数はH30.12末現在数値に4/3をかけたもの)

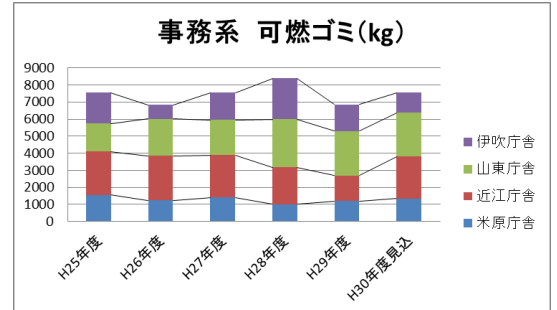


⑥ 可燃ゴミ排出量

【事務系部門】

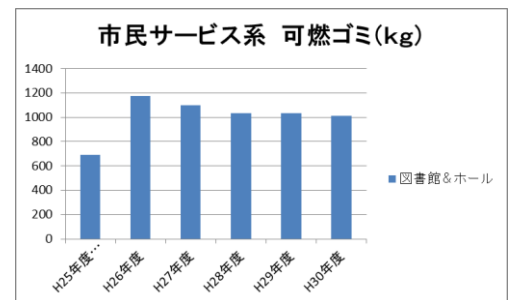
基準年度比約230kgの増加。前年度比約900kgの増加見込みとなっています。文書保存の見直し等で廃棄文書が増加したことが原因と考えられます。

特に増加しているのは政策推進課263%、都市計画課88%、近江地域協働課63%、保育幼稚園課60%



【市民サービス系部門】(市民交流プラザ・近江図書館のみ)

基準年度比323kgの増加、前年度比では26kg削減となっています。

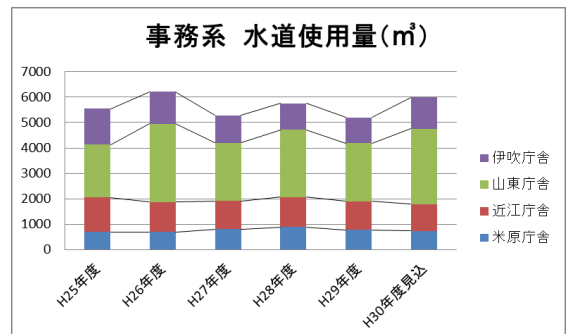


⑦ 水道使用量

【事務系部門】

水道使用量は、基準年度比約520m<sup>3</sup>増加、前年度比約850m<sup>3</sup>の増加見込みとなっています。

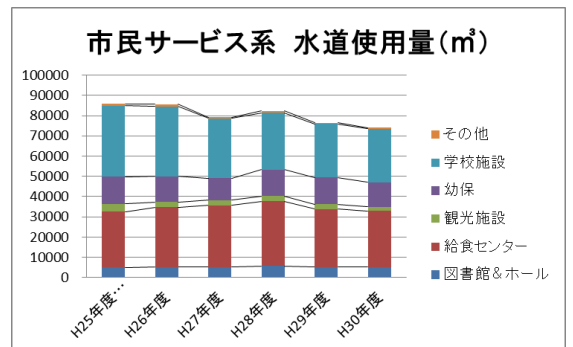
伊吹庁舎の漏水(修繕済)と山東庁舎の漏水の可能性(現在業者に調査依頼中)が原因と考えられます。



【市民サービス系部門】

基準年度比約1.1万m<sup>3</sup>の削減、前年度比約2,500m<sup>3</sup>の削減となる見込みです。

市民交流プラザは約400m<sup>3</sup>の増加となっています。こども園は統合により約4,000m<sup>3</sup>の削減、中学校は4年連続削減できています。



## 【1次評価】

各所属・各施設・各学校・各園等において、平成30年（2018年）1～12月中の地球温暖化対策の取組について各課エコスタイル推進員がとりまとめ、評価を行いました。

【監視測定】各項目の良かった部署・悪かった部署

### ◆事務用紙

#### ○削減

①防災危機管理課（58%削減）②管財課（43%削減）③政策推進課（41%削減）・建設課（41%削減）

#### ×増加

①農業委員会事務局（47%増加）②商工観光課（23%増加）③農政課（23%増加）

### ◆可燃ゴミ

#### ○削減

①人権政策課（73%削減）②山東地域協働課（73%削減）③米原地域協働課（53%削減）

#### ×増加

①学校教育課（167%増加）②近江地域協働課（123%増加）③防災危機管理課（113%増加）

### ◆燃料

#### ○削減

①商工観光課（22%削減）②近江地域協働課（17%削減）③建設課（6%削減）

#### ×増加

①歴史文化財保護課（25%増加）②農政課（16%増加）③くらし支援課（12%増加）

### ◆改善計画書作成率

#### ○作成率100%

・政策推進課・総務課・財政課・管財課・人権政策課・監査委員事務局・山東地域協働課・伊吹地域協働課  
・子育て支援課・環境保全課・農業委員会事務局・生涯学習課

#### ×未作成

・情報政策課・保険課・くらし支援課・保育幼稚園課・商工観光課・教育総務課・学校給食課  
・学校教育課・会計室

### ◆環境研修実施回数

#### ○三回以上実施

・人権政策課・監査委員事務局・保育幼稚園課・商工観光課

#### ×未実施

・秘書室・情報政策課・財政課・山東地域協働課・伊吹地域協働課・米原地域協働課・近江地域協働課  
・税務課・農業委員会事務局・都市計画課・学校給食課・学校教育課・生涯学習課・会計室

### ◆学校・園での環境学習実施回数

園 平均 9.7 回

小学校 平均 11 回

中学校 平均 8.1 回

## 【2次評価】

市役所温暖化対策率先実行計画に対する平成30年度の実績は下記の通りです。

### ●エネルギー使用量

	平成25年 (2013年)度	平成29年 (2017年)度	平成30年 (2018年)度
電気(kWh)	4,495,542.8	4,865,930.0	4,620,894.0
LPGガス・都市ガス(m <sup>3</sup> )	27,316.3	76,474.6	70,889.5
灯油(ℓ)	198,439.3	136,870.1	123,163.3
ガソリン(ℓ)	56,024.7	64,098.0	64,444.4
軽油(ℓ)	51,872.9	15,320.6	17,612.6
事務用紙(枚)	5,649,611.0	6,294,289.0	5,913,179.0
ごみ排出量(kg)	8,243.1	7,885.2	8,565.5
水道(m <sup>3</sup> )	91,422.0	81,738.0	80,054.0

### ●CO2排出量

基準年(平成25年)度比		CO2削減量	CO2削減率
2030年度目標値		<b>-850 t</b>	<b>-26%</b>
平成30年度	H30年(2018年)度係数計算	<b>-23 t</b>	<b>-0.7%</b>
実績	参考:2030年度係数計算	<b>-606 t</b>	<b>-18%</b>

基準年度比較でCO2排出量は減少しています。事務系部門ではCO2排出量が増加していましたが市民サービス系部門での削減がCO2排出量の削減要因としてあげられます。CO2排出の要因の7割が電気使用量となり電気使用量の削減が目標達成のためには必要です。なお、電気使用量は基準年度比で増加しているが排出係数が減少しているためCO2排出量は削減となっています。

エネルギー使用量については全体的に基準年度から増加しているものの、前年度比では削減が進んでいます。個別にみると節電や設備のLED化により電気使用量は削減されています。ガソリン・軽油については災害対応による公用車や重機の使用により増加が見られました。事務用紙については両面印刷・集約印刷により削減が進んでいます。水道使用量については一部施設での増加が見られましたが、全体として削減が進んでいます。

以上のことから、米原市市役所地球温暖化対策推進本部会議としての評価は下記の通りです。

業務量の増加や気象状況により、やむを得ずエネルギー使用量、事務用紙使用量、可燃ゴミ排出量が増加した部署もあったが、全庁的に削減に向けて意識して取り組まれています。

ただし、1次評価チェックシートや月々のエネルギー使用量の未記入や遅れのある部署が見られましたので、計画に基づき適切な書類作成を徹底して下さい。

また、エネルギー使用量等が増加している部署では、原因を明らかにし計画における取組を適切に実施し省エネルギーへの取組を推進・改善して下さい。

工事・委託等の実施に当たっては、環境配慮の依頼(確認書)の作成率が悪い部署が見られますので、確実な書類作成を行って下さい。

各課での環境研修が未実施の部署が見られますので、環境配慮の意識向上のためにも目標回数の実施に努力して下さい。また、研修等での各庁舎移動の際は乗り合わせを徹底して下さい。

## 【外部評価】

平成 31 年 3 月 13 日に開催された米原市環境審議会での講評は下記の通りです。

ガソリン・軽油の使用量に関して平成 27 年度からスクールバスが委託になったため、軽油使用量がなくなっていますが、現実として市内でのスクールバスは利用されているので、比較としておかしい。基準年度からスクールバス分の軽油使用量を削るか、平成 27 年度以降も委託先から聞き取りにより使用量の報告を受け比較しないと意味がないため、比較対象を再検討して下さい。

可燃ごみが増加していますが、廃棄文書について機密文書があるため燃やすという処分をされていますが、機密文書のリサイクルを実施しているところもあるので検討して下さい。

省エネ診断を受けるなど、外部からのエネルギー使用調査について検討して下さい。





⑩ 泉神社湧水	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—	7.8	8	7.8	7.9	7.9	7.9	8	8.2	7.8	7.9	7.7	6.9	7	5.8~8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.5未満	0.2未満	2.2	0.7	0.5未満	0.5未満	0.8	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7	0.6	1.2	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	0.5未満	1.2	0.5未満	0.5未満	0.6	0.5未満	0.2未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5	0.5未満	—
浮遊物質(SS)	mg/L	1未満	1未満	1	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	—
ノルマルキサン抽出物質含有量	mg/L	0.5未満	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌(～H27:大腸菌群数)	MPN/100m	検出	45	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.2未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.005未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.01未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
総水銀	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005
砒素及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.01未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L	0.1未満	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	1
亜鉛含有量	mg/L	0.1未満	0.03	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
全りん(T-P)	mg/L	0.019	0.05未満	0.022	0.05未満	0.05未満	0.016	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	—
全窒素(T-N)	mg/L	0.91	1.3	0.82	0.9	0.9	0.83	0.83	0.78	0.67	0.92	0.71	0.74	0.5	—
有機りん化合物	mg/L	不検出	0.01未満	不検出	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.05未満	0.1未満	0.1未満	0.05未満	不検出	不検出	0.1未満	—
全シアン	mg/L	0.001未満	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	不検出	不検出	不検出	0.01
PCB	mg/L	0.0005未満	不検出	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	—
塩素イオン	mg/L	4	4.4	4	5	4.5	6	5.2	6.1	5.1	4	5.3	5.4	5.7	200
一般細菌数	個/mL	2	1	不検出	不検出	2	6	0	2	4	0	0	1	0	100
色度	度	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1未満	1未満	0.5未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	5
濁度	度	0.5未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.1	0.1未満	0.2未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	2
臭気	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	1	0.96	0.9	0.9	0.9	0.79	0.9	0.63	0.8	0.69	0.68	0.71	0.67	10
TOC(全有機炭素)	mg/L	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.6	0.1	0.3未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	3

⑪ 居醒の清水(湧水)	単位	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	飲用基準
水素イオン濃度(pH)	—			7.7	7.8	7.9	7.9	7.9	8.1	7.9	8	7.7	7.2	7.3	5.8~8.6
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L			1.1	0.8	0.5未満	0.5未満	1	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.7	1.1	0.5	—
化学的酸素要求量(COD)	mg/L			0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.2	0.5	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1.3	0.7	—
浮遊物質(SS)	mg/L			1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	—
ノルマルキサン抽出物質含有量	mg/L			0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	—
大腸菌(～H27:大腸菌群数)	MPN/100m			検出	不検出	検出	検出	検出	不検出	検出(4)	不検出	検出	検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L			0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.003
鉛及びその化合物	mg/L			0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.2未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.01
六価クロム化合物	mg/L			0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.01未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.05
水銀及びその化合物	mg/L			0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005
砒素及びその化合物	mg/L			0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001	0.01未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01
銅含有量	mg/L			0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
亜鉛含有量	mg/L			0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	1
全りん(T-P)	mg/L			0.028	0.05未満	0.05未満	0.021	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	—
全窒素(T-N)	mg/L			1.2	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	0.9	1.1	1.1	0.9	1	—
有機りん化合物	mg/L			不検出	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.05未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	不検出	不検出	0.1未満	—
全シアン	mg/L			不検出	不検出	不検出	不検出	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	不検出	不検出	不検出	0.01
PCB	mg/L			0.0005未満	不検出	不検出	不検出	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	不検出	不検出	不検出	—
塩素イオン	mg/L			13	13	11	12	12	11	19	11	8.8	10	11	200
一般細菌数	個/mL			280	8	62	160	15	4	11	3	0	1	26	100
色度	度			0.6	0.5未満	1未満	1未満	0.8	1未満	1未満	1未満	1未満	1未満	1	5
濁度	度			0.2未満	0.2未満	0.3	0.1	0.2未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.2	2
臭気	—			異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
味	—			異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L			1.2	1.4	1.2	1.1	1.1	1	1.1	1.1	1	0.71	0.92	10
TOC(全有機炭素)	mg/L			0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.2	0.3未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	3